

第5回日本伝道会議報告

ディアスポラ 宣教協力

各団体の海外宣教に関する諸問題と協力の可能性について、また帰国者受け入れの問題と、在外の日本人教会との連携について、そのあり方を模索する。

前回のJCE4で、在外邦人宣教関係者はネットワークの必要を確認した。以来、時代変革に適合したディアスポラ邦人宣教を提案した。

内外一体宣教への変革

①ディアスポラとは「ディアスポラ」とは離散ユダヤ人を指すが、新約聖書では散らされたキリスト者にも使われる。そうした聖書に見るディアスポラ宣教協力をはじめ世界宣教の歴史を踏まえ、今日の世界各地の邦人宣教とその協力体制を検証。グローバル化した今日の世界において、世界に散って住む民の急速な増加と速い移動のテンポを背景に、帰国者ケアなど新しい課題で宣教協力の必要がある。そうした中で日本でもディアスポラ・ネットワークが新しい段階を迎えているとして、3点をまとめた。

①英米など長年宣教師を送っている国々では、ディアスポラ宣教は「自国にながら世界宣教に直接的に関わる」宣教だが、日本



「もっと広く、もっと深く」宣教課題への取り組み

神がチームの一員になってくださる

2日目の夜の聖会では、村上宣道氏(ホーリネス・坂戸キリスト教会協力牧師)がハガイ2・15〜19から「しかし、今日この日から」と題して語った。まずは危機の時代を把握、分析、反省すること。それを踏まえた上で、「主は将来への展望を求めておられる」と村上氏。現実



メッセンジャーの米内宏明氏(左)と村上宣道氏

どんなに厳しくても、主は「勇気を出せ」と言われる。そしてそれは「私は世の終わりで共にいる」という保証付きの命令である。「今日、この日から私は祝福を与える」と主は言いつくださる。過去のことを心から悔い改め「今日、この日から」神(ルカ5・17〜26)から、「イエスのことばに聞き従っていきましよう」と参加者を励ました。

えるチャレンジ」をテーマに語った。米内氏は、「私たちは、これまでどこにいたか?」「今、どこにいるのか?」「これからどこに行くのか?」の3つの問いを提示。「3つめの問いは、現代から未来を見据えるチャレンジ。そこには、チームワーク、ネットワーク、フットワークがある。病の友だちを天井からイエスの元に降ろした男たちの話。『罪は赦された』との言葉でチームの一員になってくださる。病という弱さが恵みを引き寄せ、次は自分が動き出す。問題のあるところ、現場で祝福は起きる」と語った。

地方伝道

地方伝道の現状と課題をどのようにとらえ、どのように克服するかを考える。また地方と都市部の教会の連携のあり方を模索する。

分かち合い衰退打開を

教会の無牧化や閉鎖が日本宣教の危機といわれる。特に顕著なのが地方の過疎地だ。格差社会の問題は、対人口比教会数などで明らかにならうに、「福音を聴く機会の格差」となって教会とその伝道に課題を投げかける。「地方伝道」プロジェクトでは、「地方教会の衰退は都市教会にも無関係ではない」、「日本の教会全体が共に負い合い取り組むべき課題」と認識。アピー

の地方伝道を発表した。背景には、地方教会の疲弊退却が、過去の伝道会議においても課題として指摘され、例えば教派を超えた協力による国内宣教師の派遣などが提唱されてきたものの、いまだ有効な打開策が構築されていない現実がある。同プロジェクトでは孤立しがちな地方教会にこそ

宣教協力が必要との認識に立つて、聖書的・神学的な考察に基づき、実行可能な提言をした。第1は「教会+牧師」の見直し。牧師不足の打開策として、効率のみで教会閉鎖・合併が進むことを懸念。地方で教会が

可能性を示した。第2は信徒伝道者の育成。無牧教会の抱える問題を打開するには、従来の牧師・信徒の固定観念を破り、互いを初代教会に見られるような「同労者」として位置付け直す必要があるとした。第3は神学校教育のパラダイム転換。従来の神学校教育は、地方伝道の必要に対応できる献身者を生み出してきたかを問い「教会主体の神学教育・指導者育成」を提言した。都市と地方の教会が、支援し、される関係でなく互いに分かち合う関係となり、都市教会に受け入れられた地方出身者を架け橋に、身近な交わりから分かち合いの共同体を築いていこうと、同ア

ル「全教会の課題として

地方伝道プロジェクトには180人が参加。フロアからも活発な意見が出た



地方伝道プロジェクトには180人が参加。フロアからも活発な意見が出た

ハンディな年刊プロテスタント情報誌

卓上に広がるコミュニティ

すぐ引けて、わかりやすい。「情報ブック」5つの活用法

- 1 市町村名入り地図で自治体の位置も教会未設置自治体もわかる
2 都道府県の宣教の歩みや生活情報・教会情報をまとめました
3 「特色」欄やホームページ紹介で教会・団体の情報が身近になる
4 学校、病院、福祉施設、各種団体、日語教会などは専門・特集ガイド編にまとめました
5 総索引・略称索引・牧会者索引・教団教派別教会索引など5つの索引

クリスチャン情報ブック 2010



好評発売中 定価 5,000円(税込)

Advertisement for C-BTE (Church-Based Theological Education) featuring speakers like 植木英次, 竿代照夫, 内村撒母耳, and 三浦光世. Includes contact information for various churches and organizations.